

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月23日

事業所名 地域支援センター第2わとと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	78%	22%	外出の機会を多くしたりなど活動の幅を広げている。	スペースをより広く使えるために物の配置を変えたりしています。
	2	職員の配置数は適切である	78%	22%	利用数によって職員配置を変えたりしています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	1日の流れを文字だけではなく、絵などを順番に貼りわかりやすいように工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	毎日清掃、消毒をして清潔を保っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	職員会議にて気付きメモ等で改善策を検討したりしている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	職員会議等で保護者の方のアンケート結果を検討し、業務改善に努めています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	83%	17%	法人のHPIにて公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	57%	43%		第三者による外部評価は行っていない状態です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	75%	25%	定期的に内部研修、オンライン研修などを行っています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	職員間で話し合い、意見を出し合って作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	88%	13%	個人懇談を行わせていただき、課題分析しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	86%	14%	項目を選択し、支援内容を考えていっています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	支援計画の内容を確認しながら日々支援を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	63%	38%		月間の活動プログラムを担当職員が原案を作成し、他職員が確認し新たな案を入れ完成させています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	季節よってのイベントもプログラムに入れたりしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	88%	13%	個々の障害特性等を配慮しながらサービス計画を作成しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎朝ミーティングを行い、1日の流れ、役割を確認しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	支援終了後必ずミーティングを行い、1日の振り返りを行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	項目を細かく分けて日々の記録をしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的に行っています。	会議などで話し合いを行い、より細かく計画を振り返り見直しをしています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児発管が中心となり、連絡を取り合っています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	電話等で連絡を取り合い、連携しています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	83%	17%	学校関連、相談支援事業所、各行政等と必要な際連絡を取っています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	83%	17%	保護者を通じて連絡、情報を得るようにしています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	保育所と見学へ行かせてもらったり、来ていただいたりもして相互理解を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	43%	57%	支援学校の先生と情報共有をしたりしています。	今後さらに情報共有、相互理解を深めていけたらと思います。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	67%	33%	見学へ行かせていただいたりしています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	25%	75%		コロナが落ち着いてきたら考えていきたいと思っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	14%	86%		コロナが落ち着いてきたら考えていきたいと思っています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳、送迎時、電話等で随時連絡を取り合っています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	71%	29%	ペアレントトレーニングは現在行っていません。	必要と感じた児童に対しては検討していけたらと思います。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明させていただいています。		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	保護者の方に説明した上で同意を得ています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	相談を受けた際は電話や直接話させていただいたりしています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13%	88%		現在コロナ禍で保護者会などは実施していませんが今後検討していきたいと思ます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	88%	13%	相談を受けた際は電話や直接話させていただいたりしています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	第2わととニュースという会報を毎月発行して保護者の方へお配りしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	十分注意して行っています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	絵カード等を用いて情報伝達しやすいように配慮しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		コロナが落ち着いてきたら考えていきたいと思ます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	86%	14%	マニュアル策定してファイリングしています。	十分に周知徹底しているとはいえない為、今後しっかりと周知徹底できるよう工夫していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	火災時や土砂災害時に備えての避難訓練を定期的に行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	面接時、懇談時に保護者の方から確認を取っています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	面接時保護者の方から確認を取っています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハット報告書を作成し、日々のミーティング、会議等で共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	86%	14%	定期的に虐待研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	86%	14%	身体拘束について説明した上で同意書を頂いています。やむを得ない場面について必要最小限の身体拘束を行う場合があることを支援計画に記載し、行った場合は記録を残しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。